

2026年1月定例自然観察会 実施報告書

2026年1月19日

実施日	2026年1月11日（日） 晴れのち曇り時々雪（気温7℃）
テーマ	冬の香櫨園浜・御前浜 歴史と文化にふれる ～西宮浜から見る六甲山地～
コース	阪神香櫨園駅～香櫨園浜・御前浜～西宮浜～阪神西宮駅
集合時間	午前9時30分
解散時間	午後2時頃
参加者	合計66名 ビジター28名、会員38名（内、1班18名）

夙川沿いに集まった参加の皆さんに朝の光がさし、新年を迎え、晴れやかに澄んだ青空と木々の緑が新鮮に感じる朝です。時折、西風が吹きぬけていきます。

9:45 受付から移動し始まりの挨拶に続き、観察地の香櫨園の名前の由来についての説明がありました。「香櫨園」は地名ではなく遊園地でした。遊園地内にあった片鉾池には当時は珍しかったジャンボウォーターシュートなどがあり、野球場も造られ、第一回日米野球大会が開催されました。香櫨園開園と同時に香櫨園駅が明治40年に開業し、高級住宅地として発展すると同時に阪神間モダニズムなど近代的なライフスタイルが定着し、作家や文化人が多く暮らしていました。

10:00 観察に出発です。葉は全て落ちているのに黄色い果実が残っているセンダンの木が目立っています。センダンは万葉集にも登場するほど古くからある樹木で、生薬の木とも呼ばれています。クロマツは多く植えられており、今は1600本程になっています。裸子植物の特徴やアカマツとクロマツの違いを見たり、来年の春には今年出来た球果と雌花と雄花も同時に見られます。夙川沿いを下り、針葉樹のナギ、海岸に生息する赤い実が可愛いトベラやシャリンバイも植えられています。



センダン果実

去年のクロマツ球果



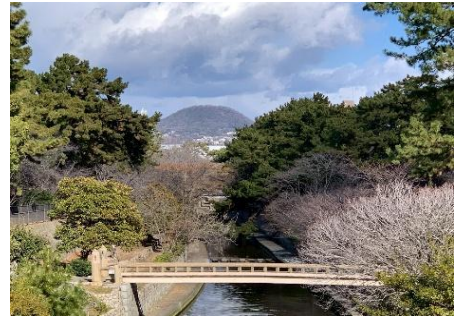
ナギ観察風景



キョウチクトウ果実

広島市の市花であるキョウチクトウは75年間、草木が生えないと言われた焦土にいち早く咲いた花です。乾燥や大気汚染に強い植物で緑化樹として植えられていますが有毒植物です。日本では結実が少ないですが茶色の綿毛のついた種髪と呼ばれる種を飛ばしました。ガマズミ科のサンゴジュの葉裏の葉腋にダニ部屋が何個もついています。ウンナンオウバイの木も河川敷にあります。夙川に架かる小さな橋が村上春樹の「ランゲルハンス島の午後」の舞台となった葭原橋です。散策道の左にはイスノキ、別名ヒョンノキともいわれ、穴の開いた虫こぶを吹くとヒューと鳴ります。スズカケノキ科のプラタナスは落葉樹です。臨港線に着き、その場から見た夙川は甲山から真っすぐに河口に向かいます。

夙川は六甲山地の東端を源流として500m程の落差がある急流で、昔は西宮神社の東側を流れ、たびたび氾濫する暴れ川だったため鎌倉時代に今の場所に付け替えられました。古代の川は砂礫の多い扇状地の上を流れており、地下に浸み込み伏流水になっています。松と桜の美しいスポットです。



11:30 臨港線を渡り回生病院前の砂浜で水鳥観察をする

場所に着くと急に突風が吹き風が強くなってきました。野鳥は少なくユリカモメが12～3羽、オオバン2羽、オナガガモ2羽が所在なげの様子でした。強風が吹いているので浜からの野鳥観察は中止にし、回生病院の説明は堤防の北側で行いました。東の御前浜に向いて歩いている時には雪が降り始め、風もより強くなってきました。浜の東の砲台までにはヒガンバナ科のハマユウが白い果実を落としています。切ってみると中はスポンジ状なのを確認しました。ハイアワユキセンダングサや生きている化石といわれるソテツやウマノスズクサの説明がありました。時々、強風が吹き砂塵も舞い上がり急激に寒くなってきました。ウマノスズクサを食草としているジャコウアゲハの蛹が堤防の壁にひっついていました。ここで越冬します。ジャコウアゲハはウマノスズクサに含まれる毒成分を体内に貯めこみ天敵から身を守っています。蛹は「お菊虫」と呼ばれていて、播州皿屋敷に登場するお菊さんが後ろ手に縛られている姿が似ているとか。庭木にされることが多いヒノキ科のカイズカイブキや赤い実をつけたニシキギ科のマサキを見ました。

勝海舟の進言で幕末期に大阪湾防備のために築造され、西洋式砲台の石堡塔と外壁が残る西宮砲台は重要文化財になっています。



ハマユウ



カイズカイブキ

12:15 昼食時は太陽が顔を出し一時は晴れましたが、昼食後は雪空となり、強風も寒さも増したので相談の上、午後からの観察会は中止としました。



砲台到着



砲台前で昼食



向こうの六甲山地観察風景

引き続き残ってコースを歩く方とは跳ね橋を渡り、西宮浜から六甲山地を見て、えびす筋を北に向かって阪神西宮駅に歩きました。途中の本家辰馬酒造の前を通り、酒蔵通りのところで灘五郷、宮水や酒造りが盛んになった理由についての説明をしました。西宮神社に着くと、”残りえびす”の日で交通規制もあり混雑していました。 阪神西宮駅解散。

悪天候で午後からの観察会は中止とし、ビジターと会員が同じグループにいる班分けでしたが、混乱もなく和気あいあいの観察会となりました。

1 班 氏家美知子

